



赤

心

第23号



10月

長野市立安茂里小学校

秋が深まり、紅葉が里に下りてきました。

先日の学校公開日・祖父母参観日には、多くの皆様にご来校いただき、まことにありがとうございます。そして、当日の校長講話には、200名以上の皆様にご静聴いただき、地域の皆様の本校への期待の大きさが伝わってまいりました。ご提出いただきましたご感想・ご要望を指導に生かしてまいりますので、今後ともご支援くださいますようお願いいたします。

明日、音楽会を開催します。子どもたちも教職員も一丸となって練習してまいりました。音楽会につきましても、子どもたちの学習の成果をご覧いただき、今後の向上のためにご感想などお聞かせいただければ幸いです。

ここにも秋を見つけました
《5年生の米作り》



さて、10月3日（水）の全校朝会にて、本校学校長が『二十六夜塔・庚申塔』について話しました。お子さんと一緒に読んでいただいたり、お子さんに分かりやすく語っていただいたりすることで、子どもたちはより深く理解してくれるものと考えております。

全校朝会(10月3日) 「染め物の原料の藍がたくさん穫れますように」 「三尸(さんし)が身体から抜け出さないように」

『 二十六夜塔・庚申塔 』

おはようございます。この前の校長講話では、二十三夜塔や十五夜お月様のお話をしましたが、ちょうど今晚が二十三夜なのです。夜七時過ぎ頃から見られると思います。さて、そこできょうは続きの話をします。

写真① 平柴公民館



この写真は、平柴公民館です。この庭の南側にこんな石碑を見つけました。

はい、それがこの写真②です。この前、二十六夜塔というのがあるけど、これは、めずらしいという話をしました。やっと見つけたので皆さんにも紹介します。これは、明治6年（1873年）に建てられた塔ですので、今から134年前に建てられたものです。

この前、二十三夜塔は、子授けや安産を祈ったという話をしましたが、二十六夜というの、愛染明王という仏教の神様を祭っているので、特に染め物をする人たちが、「染め物の原料の藍がたくさん穫れますようにとか、染め物の仕事がうまくいきますように、繁盛しますように」という祈りをこめて、二十六日目のお月様をお祭りしました。

江戸時代から明治20年頃まで平柴の地区では染め物の原料となる藍を栽培している農家や染め物屋さんが多かったの、このような二十六夜塔が残っているのです。

写真② 平柴の二十六夜塔



今度は、違う塔です。これは、平柴公民館へ下からのぼっていく途中にありました。この道（写真④）だけど分かりますか？前回、先生の家の近くにある庚申塔というのを紹介しましたが、それと同じ庚申塔です。それからもう一つこれも庚申塔です。写真⑤平柴の公民館から旭山観音へ登って行く途中の左側にあります。これを大きくしたのがこの写真⑥です。

この庚申塔の横には、寛政12年と彫ってあり、寛政12年は1800年なので、今から、207年前に建てられたものです。

写真③ 平柴公民館下庚申塔



写真④ 平柴公民館へ向かう道



写真⑤ 庚申塔のある道ばた



写真⑥ 庚申塔



昔の暦の数え方に干支で数える方法がありました。十干十二支の組み合わせで年号を数えたのですが、きょうは、この組み合わせの説明をしている時間がないのでしませんが、今から2千年以上も昔の中国では、長生きをするための祈りをしていました。それによるとこうです。人間の身体の中には、三尸(さんし)という虫が住んでいて、この庚申(カエ サル)の年の庚申(カエ サル)の日の夜に人間が眠っている間に抜け出して、人が長生きできるか長生きできないかを定める天の神様に言いつけに行くんだ。何を言いつけるかという「この人は、こんな悪いことをしました」「こんな意地悪をしました」と、その人の悪口を言いつけるんだって。それを聞いた天の神様が、よしこの人の寿命を短くしてやれ、早死にさせてやれというように、その人が長生きできないようにしてしまうんだ。それを怖がった人々が、60年に一回やってくる庚申(カエ サル)の年の60日ごとにやってくる庚申(カエ サル)の日の夜、こういう庚申塔の前に地域みんなが集まって、三尸(さんし)という虫が身体から抜け出さないように、一晩中眠らないで夜明けを待つんだ。そのとき、ただ静かに待っていてもつまらないので、ごちそうを食べたりお酒を飲んだり歌ったり踊ったりしながら待つんだ。だから、昔の人々の楽しみでもあったそうだよ。

写真⑦ 差出西交差点 (二十三夜・道祖神・庚申塔・お地藏様)



はい、この写真⑦わかりますか。そう、見たことあるね。学校の校門を出て左へ行った、差出西の信号の所にあるね。これは、一番右側が二十三夜塔、これが道祖神。これは、またその時が来たら説明しますね。そして、次のが、庚申塔です。学校のすぐ近くにあるのでまた、見てください。

ちなみに、庚申の年というのは、昭和55年(1980年)がそうでした。今度いつ来るかというと、あと33年後、平成が続いていたとすると平成52年(西暦2040年)が庚申の年に当たるんだ。ずいぶん先の話だね。校長先生は、もう生きていないかもしれないなあ。

でも庚申(カエ サル)の日というのは、いつの年でも60日ごとにやってくるんだ。カレンダーにも、十干十二支の日が載っているものもあります。教室にあるカレンダーで確かめて見ましょう。

はい、きょうは、少し長くなりましたが、これで私の話を終わります。

○大収穫でした・安茂里小学有林 収穫祭



10月28日(日)に学有林収穫祭でキノコ取り・ツリーハウス造りなどを行いました。今年は、他の行事と重なり参加者が少なかったのですが、ムラサキシメジ(天然物)や昨年コマ打ちをしたナメコが大豊作で、昼食にキノコ汁にしましたが、食べきれずお土産に持ち帰るほどでした。

学有林愛護会では12月に「木工作品づくり」を計画されているとのことです。後日、案内が配布されると思いますので、興味のある方はお子さんと一緒に参加されてはいかがでしょうか。

○11月の主な予定 《11月は人権教育月間です》

- * 2日・音楽会 * 9日・6年生合同音楽会 * 13日・5年生社会見学
- * 14日・ブロック学年会(近隣小学校の教師70余名が本校に集まり、いくつかの学級の授業を参観するなどして学習指導研究会を行います) * 16日・校内図工展、クラブ展(どちらも参観日に展示してあります)
- * 20日・全校参観日 * 26日・理科研究授業・授業研究会(全職員で学習指導について研究します)
- * 28日・1～3年生スケート教室 * 30日・児童会杏っ子祭り、6年生裾花中学校制服採寸

